

茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27～31年度）

総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国・県の総合戦略と「茂原市人口ビジョン」を踏まえ、本市の「まち・ひと・しごと創生」に向けた基本目標や施策の基本的方向と主な取り組みをまとめたものです。

基本目標1 産業が力強く成長するまち

雇用の場の創出に向け、平成29年度に分譲を開始する「茂原にいほる工業団地」への成長産業の立地を促進するとともに、既存産業の競争力強化や地域資源を活かした新産業の創出を促進します。

数値目標

指 標	基準値	数値目標
市内事業所数	3,598事業所 (H26)	3,800事業所 (H30)
市内従業者数	36,560人 (H26)	40,000人 (H30)
雇用の場が確保されていると思う市民の割合	10.7% (H27)	15% (H31)

目標を実現するための基本的方向と主な取り組み

- 成長産業の立地促進
 - ・茂原にいほる工業団地の整備
 - ・企業情報の収集強化と効果的な誘致活動の実施
 - ・天然ガスを利用した新たな企業立地調査 等
- 市内産業の競争力強化
 - ・人材育成、商品開発、販路拡大、情報発信のための支援
 - ・賑わいを創出するイベントの実施支援の拡充 等

基本目標2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち

結婚・妊娠・出産・子育て、それぞれのステージで希望がかなうよう、切れ目なく総合的に支援します。また、雇用の場の創出による経済的基盤の安定とあわせ、地域や企業の支援を充実することにより、「まち」全体で子育てを応援する機運を高めます。

数値目標

指 標	基準値	数値目標
合計特殊出生率	1.25 (H25)	1.40 (H31)
子育てを楽しんでいると感じるこの方が多い市民の割合	59.2% (H25)	70% (H31)

目標を実現するための基本的方向と主な取り組み

- 結婚・出産の希望に応える支援の充実
 - ・産前・産後サポートセンターの設置
 - ・不妊検査費、治療費等に対する助成 等
- 安心して子育てできる環境づくり
 - ・子育て支援企業の認定制度の構築と、優遇措置の検討
 - ・広域連携による病児病後児保育所の増設 等

基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるまち

地元雇用の促進や子育て環境の充実などにより、市民が「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めるとともに、地域資源の活性化や創出、近隣地域をはじめとする広域連携の強化、まちの魅力の発信などにより、交流人口の拡大を図り「住んでみたい」と思われるまちづくりを目指します。

数値目標

指 標	基準値	数値目標
20～39歳の社会移動数	▲256人 (H23～27平均)	▲123人 (H27～31平均)
有効求人倍率 (ハローワーク茂原)	0.55倍 (H26)	0.8倍 (H31)
観光入込客数 (延べ人数)	1,290,725人 (H25)	1,587,000人 (H31)

目標を実現するための基本的方向と主な取り組み

- 生活基盤の安定による移住・定住の促進
 - ・三世代同居のための建物の増改築費用等への助成
 - ・インターンシップの導入による雇用の定着支援 等
- まちの魅力を活かした賑わいづくり
 - ・市民参加型のイベントの充実
 - ・健康寿命延伸に向けた運動教室の開催やトレーニング機器の整備
 - ・桜の再生や休憩スペースの設置による茂原公園の魅力の向上 等

基本目標4 地域力が暮らしを支えるまち

人口減少や高齢化社会に対応しながら、市民が心身ともに安心・安全に暮らすことができ、住みよいまちづくりに向け、市民の主体的なまちづくりへの参画を促進します。また、地域交通ネットワークの構築や圏央道の利活用により、地域と地域をつなぎ、市内外の交流を促進しつつ、外房地域の拠点都市としての都市機能を充実させます。

数値目標

指 標	基準値	数値目標
茂原市に誇りや愛着を持っている市民の割合	47.7% (H27)	70% (H31)
茂原市にずっと住み続けた市民の割合	41.4% (H27)	60% (H31)
地域行事等へ参加している市民の割合	33.1% (H27)	50% (H31)

目標を実現するための基本的方向と主な取り組み

- 市民が主体的に取り組む住みよいまちづくり
 - ・市民活動団体の育成支援
 - ・市民や企業からの地域の情報発信 等
- 安心・安全に暮らせるまちづくり
 - ・防犯カメラの効果的な設置と運用 等
- 地域をつなぐ交通網の形成と利便性の向上
 - ・高速バスの拡充（羽田方面の利便性向上、成田方面の開設）
 - ・(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジの整備 等